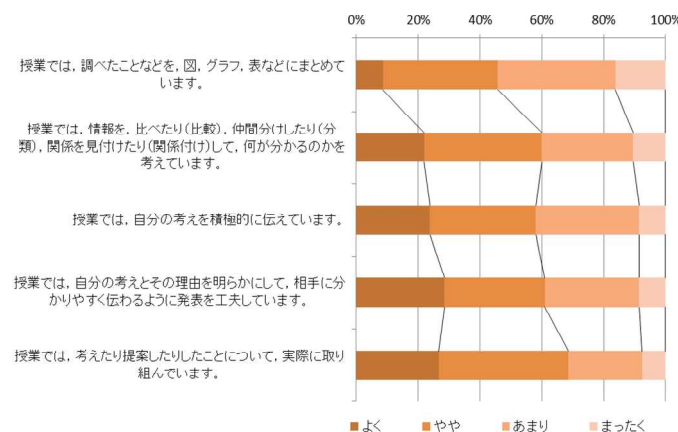


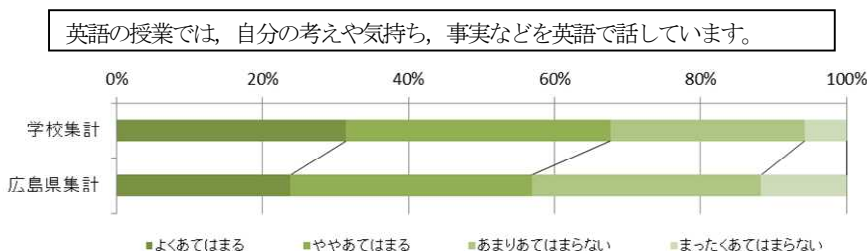
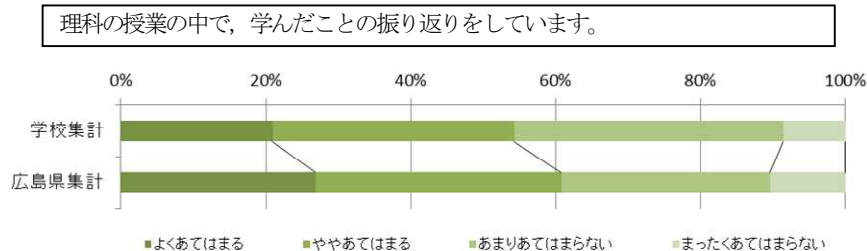
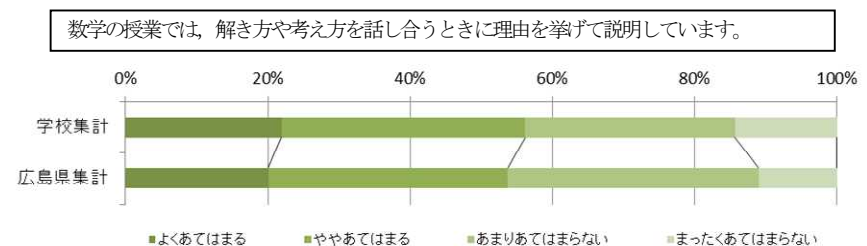
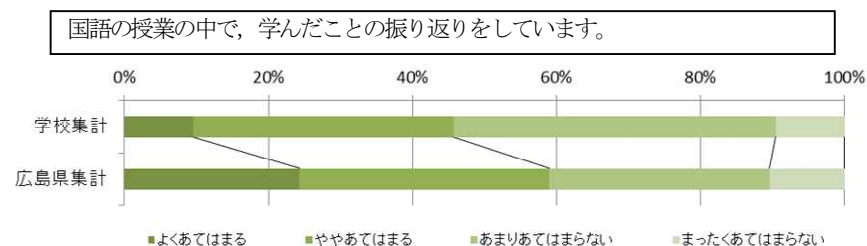
質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）

(1) 生活・学習 「課題発見・解決学習」(2)



生徒の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
<ul style="list-style-type: none"> 調べたことなどを、図、グラフ、表などにまとめることの肯定的評価が低い。(肯定的評価 45.7%) 情報の分析や自分の考えを伝えることの肯定的評価が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業において、予習などで意図的に情報を集めるような課題を設定する。 実際に情報に触れることで、集める場面もみられるが、意識的、意図的に情報を集める課題設定を行う。 新聞づくりなどの取組の実施。 	2年生	肯定的評価の数値を75.0%	アンケート調査	12月		

(2) 教科



	生徒の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	<ul style="list-style-type: none"> 授業の中で、学んだことの振り返りが十分にできていない。(肯定的評価 45.7%) 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに授業を振り返り、学んだことを書かせる時間をとることで、継続的な学びを生徒に意識させる。 	2年生	95.0%	生徒アンケート	学期毎		
数学	<ul style="list-style-type: none"> 授業において、解き方や考え方を話し合うときに、理由をあげて説明する活動が十分にできていない。(肯定的評価 56.2%) 	<ul style="list-style-type: none"> 個人思考→グループ→全体の順で気づきをまとめさせ、話し合い、発表させる活動を仕組む。 授業での発表やグループでの話し合いの際は、自分の考えの根拠や理由を発表させる。 	2年生	70.0%	生徒アンケート	12月		
理科	<ul style="list-style-type: none"> 授業の中で、学んだことの振り返りが十分にできていない。(あてはまる 54.3%) 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の始まりに前時の振り返り問題を解き、授業内容に入る。また、授業の終末には本時で学習したことをまとめさせ、自己評価させる。 	2年生	肯定的評価を75.0%以上	生徒アンケート	12月		
英語	<ul style="list-style-type: none"> インプットした語や表現を使用する活動や場数を数多く設定する必要がある。(肯定的評価 67.6%) 	<ul style="list-style-type: none"> 中心となる活動としてスピーチや表現する活動を多く設定し、生徒がアウトプットする機会を増やす。 	2年生	肯定的評価を75.0%以上	生徒アンケート	12月		